

「お客さま本位の業務運営（フィデューシャリー・デューティー）」にかかる

2018 年度の取組状況ならびに K P I（成果指標）の公表

2019年6月28日



## 1 秋田銀行における「お客さま本位の業務運営取組方針」にもとづくKPI

秋田銀行においては、「お客さま本位の業務運営取組方針」にもとづく取組状況をお客さまにご確認いただけるように、当行独自のKPI\*を制定しております。

2018年度の取組状況について、以下3つのKPIをご確認ください。

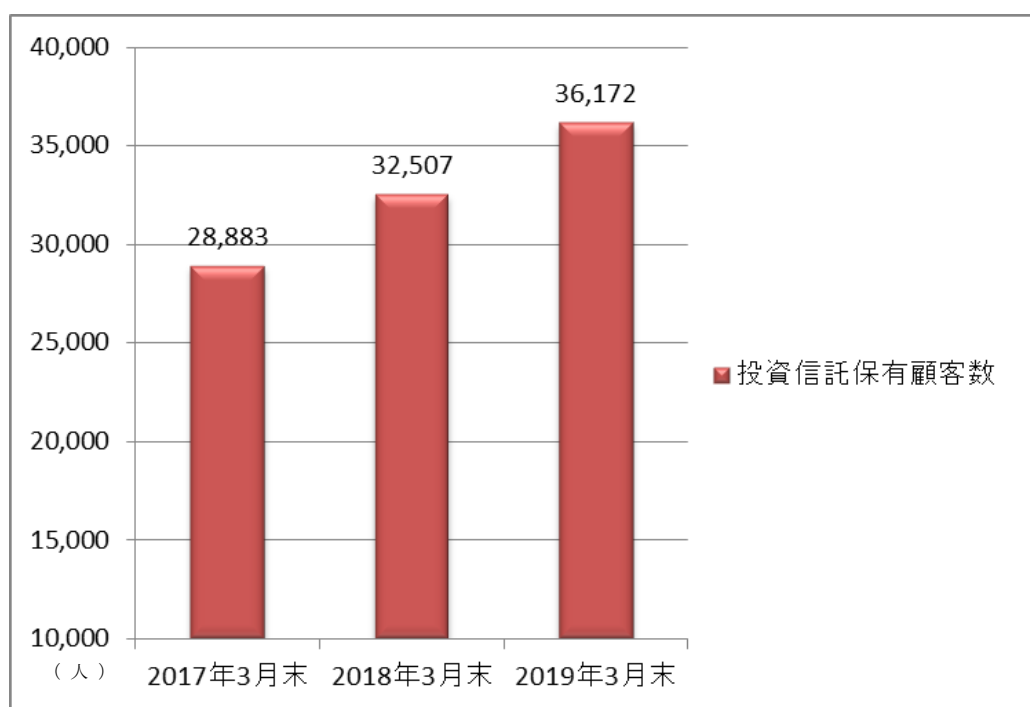
※KPI：Key Performance Indicatorの略称で成果指標を表す。

### (1) 投資性商品保有顧客数の状況

秋田銀行では、お客さまの将来に向けた資産づくりの必要性をお伝えし、取引経験、金融知識、資産状況およびニーズに応じた適切な商品を活用し、資産形成を始めてもらうようご提案しております。

こうした取組みの成果として、当行を通じて投資信託を保有するお客さまは前年度に比較し3,665名増加し、2019年3月末における投資信託の保有顧客数は36,172名となりました。

#### ■ KPI 「投資信託保有顧客数」〔図表1〕



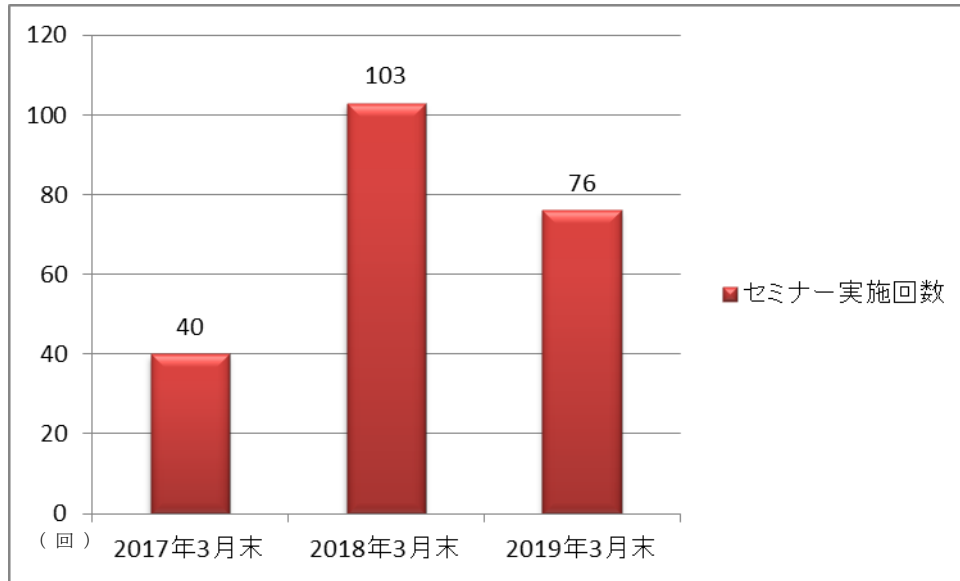
### (2) お客さま向けセミナーの実施状況

当行では幅広い年代のお客さまを対象とした長期投資セミナーをはじめ、ライフプランやイベントに応じた様々なテーマのライフプランセミナーを開催しております。

また、参加人数や会場に関わらず、各種サークルや職場単位で開催するマネー講座など、お客さまの将来に向けた資産づくりをテーマとした情報提供に取り組んでおります。

2018年度の取組みにおいては、年間を通じ76回実施し、延べ1,057名のお客さまにご参加いただきました。

■ K P I 「お客さま向けセミナー等の実施回数」〔図表 2〕

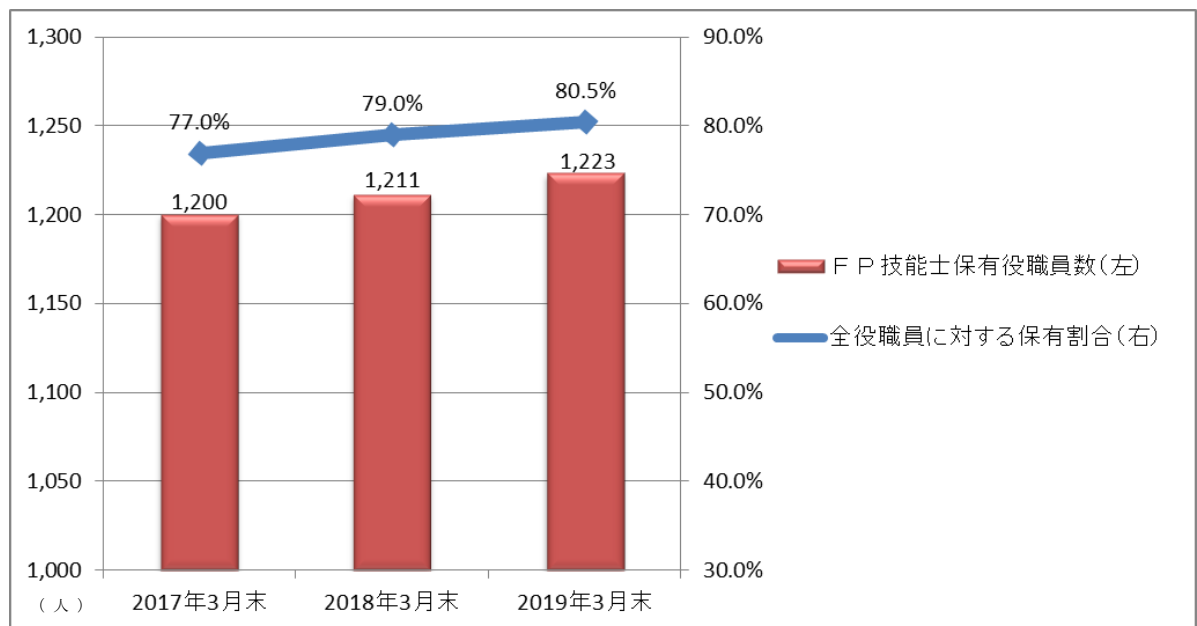


(3) 各種専門資格の取得状況

当行では、お客さまの資産形成に向けた適切な提案やアドバイスができるよう、職員の専門知識やスキルの向上をはかるために各種専門資格の取得を促しています。

2019年3月末におけるファイナンシャル・プランニング技能士（1・2・3級）を保有する役職員の数は、1,223名（パート職員を除く。）となりました。これは、全役職員に対して80.5%の保有率となります。

■ K P I 「ファイナンシャル・プランニング技能士（1・2・3級）の保有者数」〔図表 3〕



## 2 投資信託販売会社における比較可能な共通KPI

金融庁では、お客さまが良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を総合的に判断するために、比較することができる統一的な指標（以下、「比較可能な共通KPI」という。）を2018年6月に公表しております。

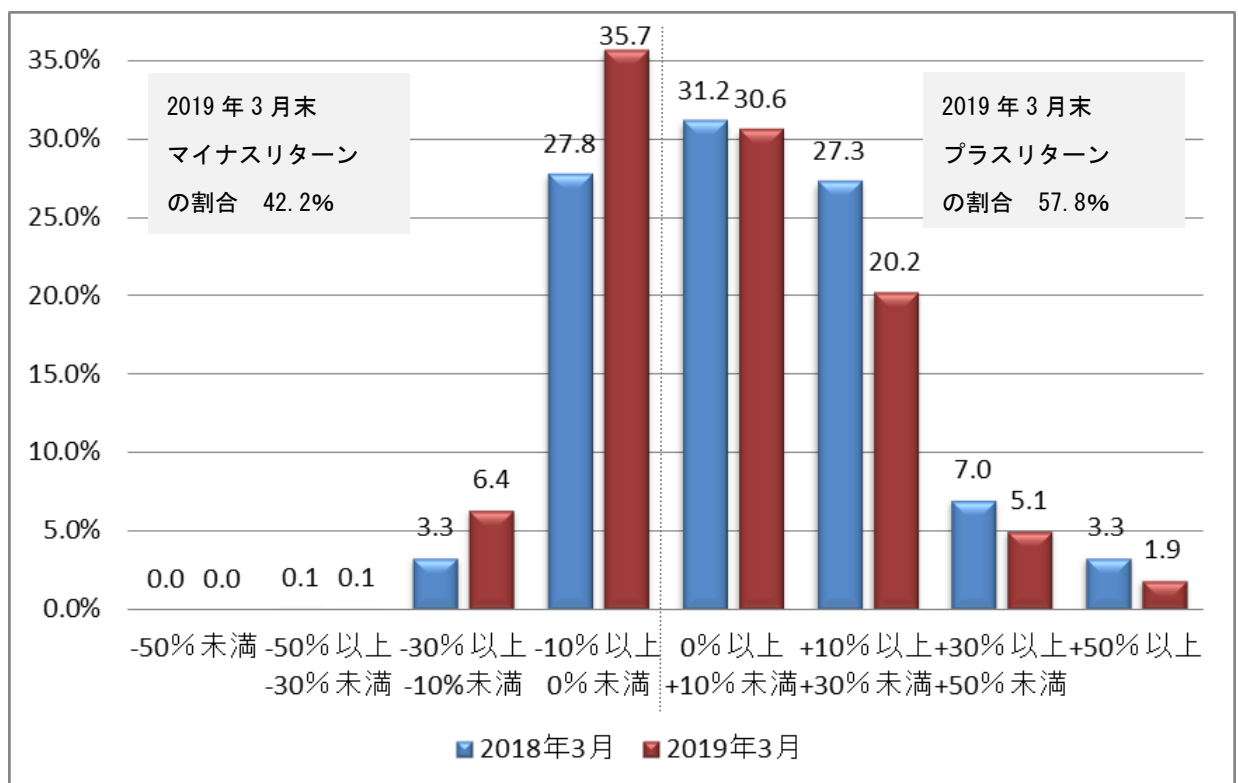
これにもとづき、秋田銀行では投資信託を購入し保有していただいているお客さまの資産の運用状況（損益）、ならびに当行において取扱いしてきた投資信託商品のリターン実績を比較可能な共通KPIとして公表いたしますのでご確認ください。

### (1) 損益割合

当行を通じて投資信託（iDeCoを除く。）を保有するお客さまの運用状況について、損益率別の割合を表したものが図表4となります。

プラスリターン（運用損益がプラスとなっている）のお客さまの割合は57.8%となり、一方で、マイナスリターン（運用損益がマイナスとなっている）のお客さまの割合は、42.2%となっております。

■ 共通KPI 「投資信託の保有者運用損益別割合」〔図表4〕



(2) 投資信託商品のリターン実績

a 預り残高上位 20 銘柄

2019年3月末時点において、当行を通じて保有していただいている投資信託の残高上位 20 銘柄は図表 5 のとおりとなっております。

■ 共通KPI 「預り資産上位 20 銘柄」〔図表 5〕

銘柄	コスト(%)	リスク(%)	リターン(%)
① ひふみプラス	1.49	15.03	13.87
② 高金利先進国債券オープン(毎月分配型)	1.76	6.96	0.65
③ ワールド・リート・オープン(毎月決算型)	2.21	13.99	5.87
④ MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)	1.13	8.73	8.51
⑤ トレンド・アロケーション・オープン	1.60	5.69	1.07
⑥ インデックスファンド225	0.99	15.70	8.82
⑦ アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)	2.38	15.73	3.46
⑧ 財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.46	8.05	4.90
⑨ ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド	2.22	3.03	1.47
⑩ ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)	1.81	4.19	1.58
⑪ 高金利先進国債券オープン(資産成長型)	1.76	6.97	0.60
⑫ BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)	2.11	3.84	0.76
⑬ 東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)	1.10	1.74	1.54
⑭ 東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)	1.10	1.74	1.54
⑮ DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)	1.84	13.56	3.61
⑯ 世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)	1.84	8.54	2.86
⑰ コモンズ30ファンド	1.49	15.17	8.48
⑱ 世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型	1.46	8.15	5.68
⑲ グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)	1.67	6.34	1.49
⑳ HSBC インド オープン	2.81	21.29	7.54

- (注) 1 上位銘柄は設定後 5 年以上経過している投資信託を対象 (現在募集停止している銘柄を含む)。  
 2 コストは、過去 5 年間の 1 年あたりの販売手数料率と信託報酬率の合計値を表示  
 3 リスクは、過去 5 年間の月次リターンの標準偏差を年率に換算して表示  
 4 リターンは、過去 5 年間のトータルリターンを年率に換算して表示

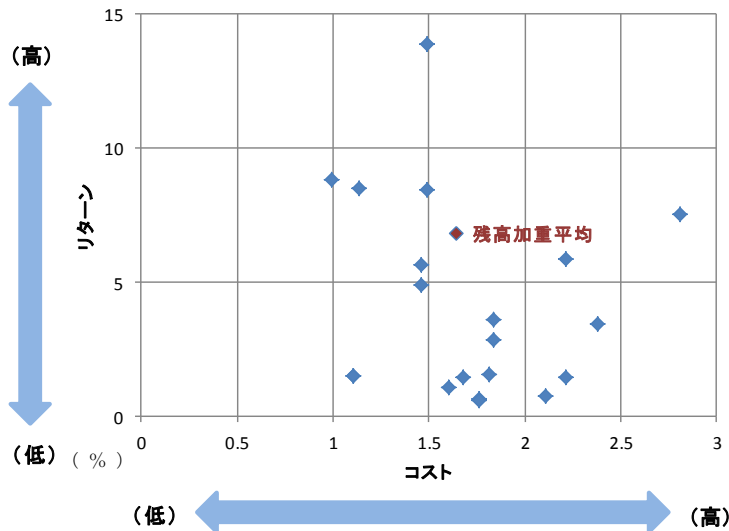
b 預り残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

投資信託の残高上位 20 銘柄について、2019 年 3 月末におけるコストに対するリターンを表したものは図表 6 のとおりです。20 銘柄中、13 銘柄においてリターンがコストを上回っております。

なお、2018 年 3 月末時点におけるコスト・リターンについても、あわせてご確認ください。

■ 共通 KPI 「上位 20 銘柄のコスト・リターン」〔図表 6〕

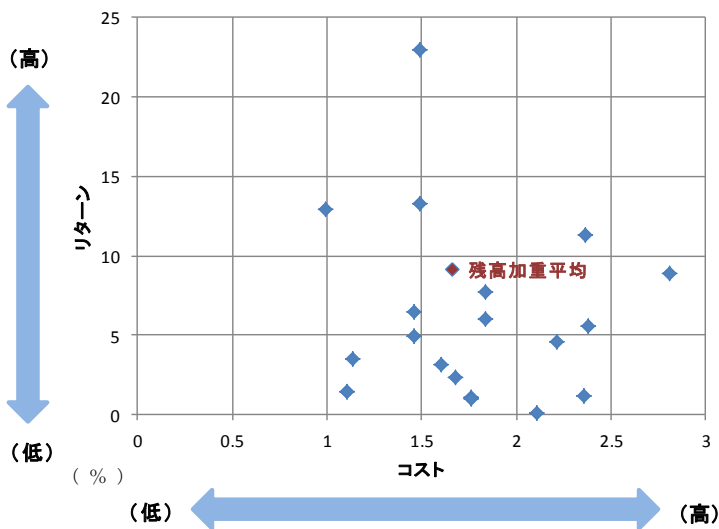
【2019 年 3 月末基準】



2019年3月末 残高上位20銘柄	
①	ひふみプラス
②	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
③	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)
⑤	トレンド・アロケーション・オープン
⑥	インデックスファンド225
⑦	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
⑧	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
⑨	ビクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド
⑩	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)
⑪	高金利先進国債券オープン(資産成長型)
⑫	BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)
⑬	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)
⑭	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)
⑮	DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)
⑯	世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)
⑰	コモنز30ファンド
⑱	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
⑲	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑳	HSBC インド オープン

	コスト(%)	リターン(%)
残高加重平均値	1.64	6.83

【(参考) 2018 年 3 月末基準】



2018年3月末 残高上位20銘柄	
①	ひふみプラス
②	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
③	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)
⑤	トレンド・アロケーション・オープン
⑥	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
⑦	インデックスファンド225
⑧	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
⑨	高金利先進国債券オープン(資産成長型)
⑩	ビクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)
⑪	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)
⑫	BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)
⑬	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)
⑭	DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)
⑮	世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)
⑯	コモنز30ファンド
⑰	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
⑱	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑲	HSBC インド オープン
⑳	株ちょファンド日本(高配当株・割安株・成長株)毎月分配型

	コスト(%)	リターン(%)
残高加重平均値	1.66	9.15

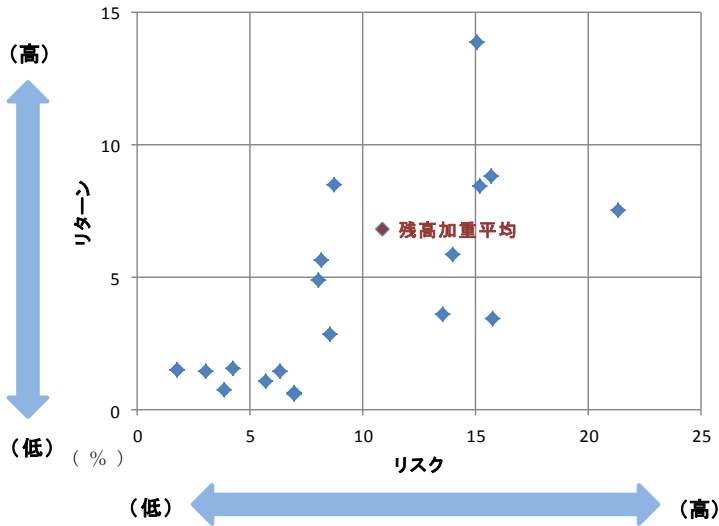
c 預り残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

投資信託の残高上位 20 銘柄について、2019 年 3 月末におけるリスクに対するリターンを表したものは図表 7 のとおりです。20 銘柄中、7 銘柄において 5 % を超えるリターンを実現しております。

なお、2018 年 3 月末時点におけるリスク・リターンについても、あわせてご確認ください。

■ 共通 KPI 「上位 20 銘柄のリスク・リターン」〔図表 7〕

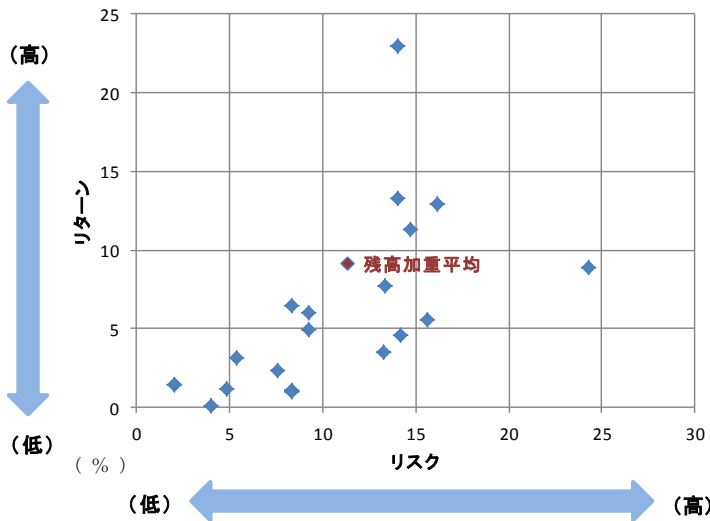
【2019 年 3 月末基準】



2019年3月末 残高上位20銘柄	
①	ひふみプラス
②	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
③	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)
⑤	トレンド・アロケーション・オープン
⑥	インデックスファンド225
⑦	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
⑧	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
⑨	ピクテ・マルチアセット・アロケーション・ファンド
⑩	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)
⑪	高金利先進国債券オープン(資産成長型)
⑫	BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)
⑬	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)
⑭	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)
⑮	DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)
⑯	世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)
⑰	コモンズ30ファンド
⑱	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
⑲	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑳	HSBC インド オープン

	リスク(%)	リターン(%)
残高加重平均値	10.86	6.83

【(参考) 2018 年 3 月末基準】



2018年3月末 残高上位20銘柄	
①	ひふみプラス
②	高金利先進国債券オープン(毎月分配型)
③	ワールド・リート・オープン(毎月決算型)
④	MHAM J-REIT インデックスファンド(毎月決算型)
⑤	トレンド・アロケーション・オープン
⑥	アジア・オセアニア好配当成長株オープン(毎月分配型)
⑦	インデックスファンド225
⑧	財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
⑨	高金利先進国債券オープン(資産成長型)
⑩	ピクテ・アセット・アロケーション・ファンド(毎月分配型)
⑪	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(年2回決算型)
⑫	BAMワールド・ボンド&カレンシー・ファンド(毎月決算型)
⑬	東京海上・円建て投資適格債券ファンド(毎月決算型)
⑭	DIAM世界好配当株オープン(毎月決算コース)
⑮	世界ソブリン債券・日本株ファンド(毎月分配型)
⑯	コモンズ30ファンド
⑰	世界の財産3分法ファンド(不動産・債券・株式)毎月分配型
⑱	グローバル・ソブリン・オープン(毎月決算型)
⑲	HSBC インド オープン
⑳	株ちょファンド日本(高配当株・割安株・成長株)毎月分配型

	リスク(%)	リターン(%)
残高加重平均値	11.33	9.15

以上